



事業内容

志布志東洋埠頭は、世界とつながる志布志港を中心に、国内貨物、輸出入貨物の荷揚（積）作業、トラック輸送、官庁・税関への手続きなどを行っている会社です。

●学生サポーター的の魅力ポイント●

日本を形づくる物流の最前線！

志布志東洋埠頭は、志布志港に加え、鹿児島や宮崎にも拠点を構え、南九州の物流を支えています。さらに、志布志港は、南九州最大規模の国際コンテナターミナルでもあるため、様々な国からの輸出入も支えているのが魅力です。



入社4年目
清武 楓さん

仕事内容

入社4年目の清武さんは、国内の船だけでなく、外国からの船を管理する業務をしています。具体的には、内航船と外航船の出入りをスムーズに行うために、それぞれの船が出入りする時間を調整したり、外国船と連携しながら貨物を運んだりしています。外航船との業務では、言語の壁を乗り越え、海外の方々とのコミュニケーションを大事にされています。また、清武さんが、この会社に就職しようと思ったきっかけは、実際に現場を見た際、外航船に携わることができる点や、現場作業で使われている重機を動かす点に興味を持ったからとのこと。清武さんは、インタビューの合間にも和やかな雰囲気、同僚から愛されている方だなと感じました。

鹿児島で働く魅力

清武さんは志布志市の出身で、地元の人々や友人との温かいつながりが大きな魅力だと話してくれました。幼いころから住み慣れている地で働くということは、言葉で言い表す以上の安心感があると感じました。

大切にされていること

●報・連・相を大切に

チームとして仕事をすることが多く、仕事を円滑に進めるためには、事前に情報を共有しておくことが特に重要です。そのため、スタッフや相手先に連絡・相談をすることを常に心掛けていると話します。基礎的な部分を念頭に仕事をすることは、プロフェッショナルそのものだと感じました。

今後の目標

●今よりも多くの機能を備えた港を！

現在は穀物や肥料の物流をメインに行っている会社ですが、今後は穀物や肥料にとどまらず、未だ取り扱っていない品物を取り扱っていこうと考えられています。また作業の自動化も進め、作業時間の短縮や効率化を目指しているということです。



●現場での作業の様子



●倉庫での作業の様子



入社19年目
染木 康芳さん



● 志布志港の様子

仕事内容

主に輸出入の手続きを顧客から代行しています。加えて、倉庫の保管や貨物の輸送も担っています。スケジュール通りに物事を進めるために、顧客、税関の関係者、そして社内と、事前に情報を共有することを大事にされている染木さん。特に、輸入の際には、顧客の希望を聞きながら、滞りなく手続きを行うことに気を配っているそうです。自分の仕事だけでなく、社内の雰囲気や風通しの良さも考える広い視野を持つ方だと感じました。

大切にされていること

●顧客の責任も背負って

運送業は、顧客に代わって輸出入をしているので、滞りなくタイムスケジュール通りに物流を進めることが最重要になってきます。仕事をするうえで、ハブニングや思いもよらぬ出来事に見舞われても、冷静に対処し、お客様のところへ時間通りに届けることを意識していると話します。お客様の責任も背負いながら仕事に取り組む背中が、すごくかっこよかったです。

鹿児島で働く魅力

鹿児島県は畜産業や水産業、農業が盛んです。牛や鶏、豚、野菜類にブリやカンパチといった県産の生鮮食品を海外に最前線でアピールすることができる港で働くことは、非常に大きなやりがいを感じることができると教えてくれました。鹿児島から世界に発信していくという姿に地元愛を感じることができました。

担当から学生へのコメント

南九州の物流拠点・志布志港で働いてみませんか？外国船で運ばれる輸出入貨物に携わり、島国日本の物流を支える仕事です。興味のある学生さんは、意外と面白いかも知れません。平日は現場見学も受け付けています。

志布志東洋埠頭 採用担当者
津曲さんからのコメント



取材後の感想



橋本 幹大さん

南九州を支える物流会社で、私たちの生活もここを介して支えられているんだということを肌で実感することができました。また、物流という安定した仕事に魅力を感じました。



西原 来海さん

顧客に代わって輸出入の手続きを行い、外航船と連携を取りながら円滑にお仕事を進める社員の皆さんから、責任感をもって業務を全うすることや情報を共有する大切さを知ることができました。また、倉庫や工場内を見学した際、重機を扱っていた社員の皆さんが、安全に気を配りながら真摯に働いていらっしゃる姿が印象的でした。



中園 舜さん

巨大な船を前に世界を相手に業務を行っている様子を見て、非常にスケールの大きな仕事に驚きました。また、100年近く物流を担ってきた歴史を持つ志布志東洋埠頭の、仕事への情熱と地元とのつながりをインタビュー中に感じました。



矢島 海音さん

世界を相手に南九州の物流の最前線を狙う志布志東洋埠頭。取材や施設を案内してもらっているときも和気あいあいとした雰囲気を職場から感じ、笑顔が多い職場だなと思いました。話を聞いている中で何度も「連携」や「つながり」といった言葉を耳にして、人と協力することがやはり仕事をするなかで大切だと学びました。